

☎ いちのみや

# 議会だより

## 祝 令和7年 一宮町成人式



「関連記事 P16」

撮影：Sea Side Page

第194号  
2025.2

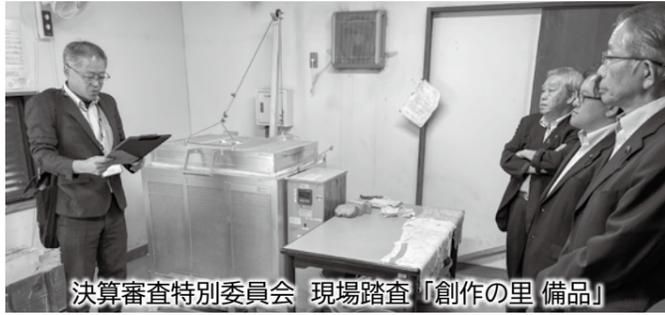
町のホームページで議会だより  
や議会の録画中継、会議録等を見ることが  
できます。  
<https://www.town.ichinomiya.chiba.jp>



20歳の祝典  
おめでとう！

主な内容

- P2 正副議長就任あいさつ
- P3～5 令和5年度決算を認定  
補正予算の概要
- P7 議案審議賛否一覧
- P8～15 一般質問



決算審査特別委員会 現場踏査「創作の里 備品」

令和6年第4回一宮町定例議会は、12月10日に開催されました。閉会中の継続審査となっていた令和5年度各会計の決算審査の報告や8名の議員が一般質問を行いました。また、議案は協定の一部変更や補正予算など16件あり、原案どおり可決しました。

定例議会で決まったこと

正副議長就任あいさつ

令和6年第1回一宮町臨時議会が11月7日に開催され、新たな議長及び副議長が就任しました。また、議会運営委員会等の委員の交代もありました。



議長 小関 義明

町民の皆様には、一宮町議会に対し、ご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

私は、昨年11月7日の臨時議会において、多数の議員のご推挙により、議長という大役を仰せつかりました。その重責の重さを認識しつつ、公平公正な議会運営を目指し、誠心誠意努めてまいります。

町は、物価高騰・各公共施設の老朽化など様々な課題を抱えています。これらの課題に向けて、町民の皆様の声に耳を傾け、議会として行政と綿密に連携しながら、地域経済に貢献できる施策を積極的に推進してまいります。

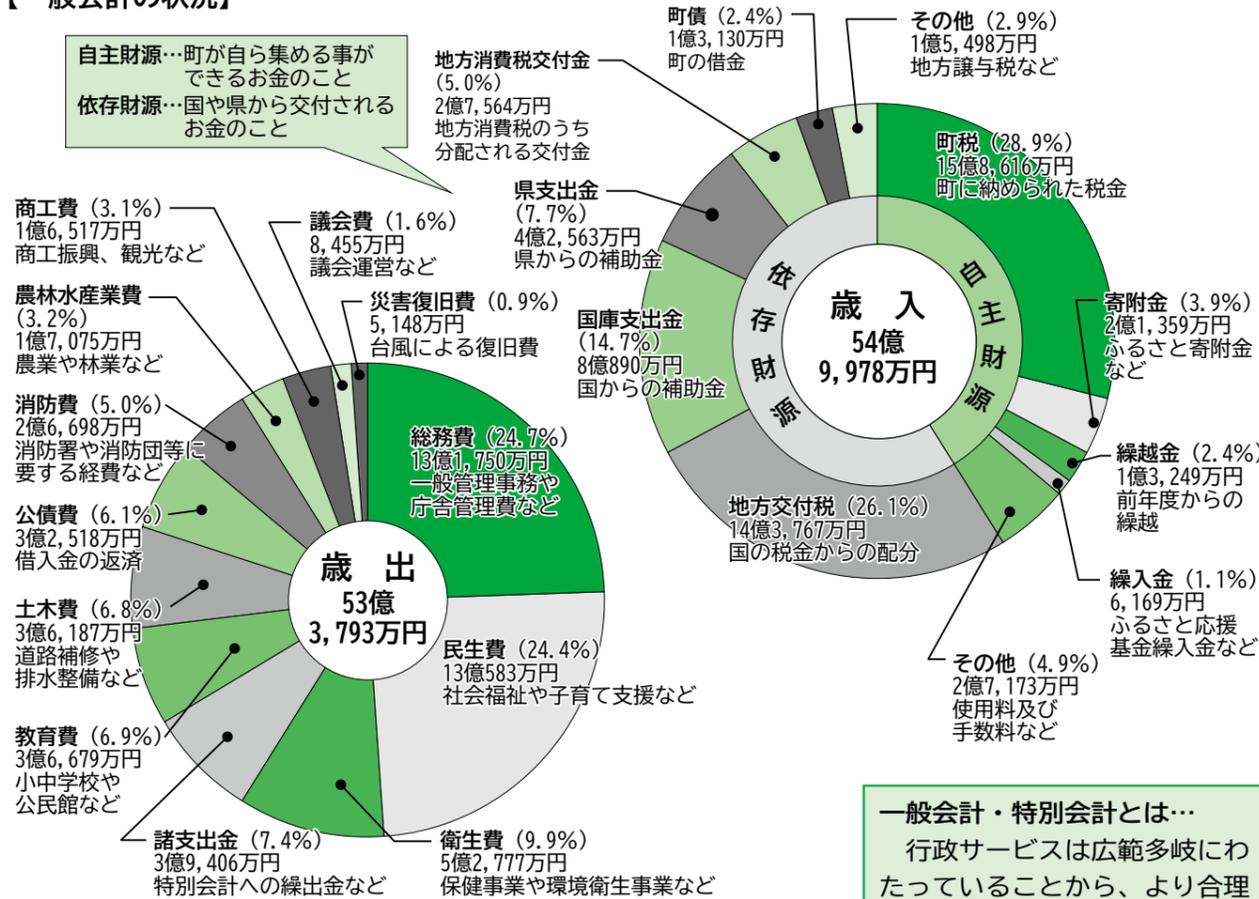
また、子育て支援の拡充や高齢者福祉の充実など、全ての世代が安心して暮らせる環境づくりを目指してまいります。これらの目標達成には、町民の皆様の協力が不可欠です。

町議会は町民の皆様と共に、より良いまちづくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和5年度決算を認定

9月議会において付託された決算審査特別委員会を2日間にわたり開催し、令和5年度決算を審査しました。その後、本会議で委員長報告を行い、討論・採決の上、各会計とも認定されました。

【一般会計の状況】



一般会計・特別会計とは… 行政サービスは広範多岐にわたっていることから、より合理的にわかりやすい会計経理を行うために、一般会計のほかに収入・支出を経理する特別会計を設けています。一般会計は、町税や国庫・県支出金等の収入をもとに、主に町の基本的な行政サービスを行う会計です。特別会計は、特定の収入のもと、特定の事業を行う会計です。

【特別会計の状況】

Table with 4 columns: 会計名, 歳入決算額, 歳出決算額, 歳入歳出差引額. Rows include 国民健康保険, 介護保険, 後期高齢者医療.

【農業集落排水事業会計の状況】

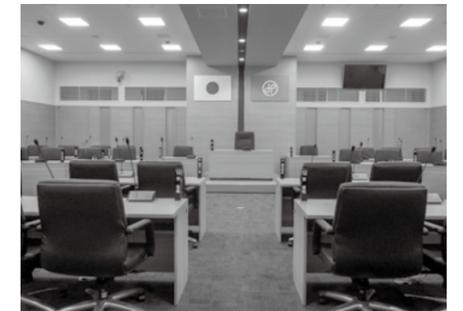
Table with 4 columns: 収入決算額, 支出決算額, 収入支出差引額. Rows include 収益的収支, 資本的収支.



副議長 袴田 忍

今回の臨時議会におきまして、議会の皆様のご推挙により議会副議長の職を頂きました。袴田です。

一宮町も少子高齢化が進む中で、今後人口減少の壁に当たると思っています。今までの人口の維持をしていくためには、「住み良い、人に優しいまちづくり」が必要と考えます。町行政、住民の方々及び議会議員全体での協力が必要になります。努力する姿勢を議会で示して行きたいと考えています。小関新議長を補佐し、微力ながら、新議長のもと誠心誠意、議会活動に邁進していく所存です。町民皆様のご支援ご指導よろしくお願ひ申し上げます。



町議会を代表し、各議員が選出されました。
・長生郡市広域市町村圏組合 議会議員
◎森 佐衛
・千葉県後期高齢者医療広域連合議会議員
◎畑場 博敏

町の監査委員
◎宇佐美 信幸
町の財務や事務処理が適正・公正に執行されているかをチェックします。

議会運営委員会
委員長 吉野 繁徳
副委員長 森 佐衛
委員 畑場 博敏
◎委員 鶴沢 一男
◎委員 鶴沢 清永
◎委員 川城 茂樹
◎委員 藤井 幸恵

議会報編集委員会
委員長 藤井 幸恵
副委員長 宇佐美 信幸
◎委員 袴田 忍
◎委員 大橋 照雄
◎委員 川城 茂樹
◎委員 篠瀬 寛樹

議会活動を周知するため、議会だよりを編集・発行するための委員会です。

※◎が新たに就任した委員です。

# 決算審査特別委員会 報告

10月15日・16日に委員会を開催し、現場踏査を一堂海岸トイレ、東浪見小学校遊具、創作の里備品の3箇所実施しました。

ここでは、委員会での質疑・回答の一部をお伝えします。また、町に対して3つの要望をしました。

委員長	藤井 幸恵
副委員長	宇佐美信幸
委員	小関 義明
委員	吉野 繁徳
委員	大橋 照雄
委員	篠瀬 寛樹

## 質疑・回答

**問** 町の自主財源の比率は41・2%である。

**答** 消防費が約2千万円増額している理由は、

**問** 長生郡市広域市町村圏組合負担金の増が主な要因である。それに加え、GSSセンター裏山工事やハザードマップ作成等がある。

**答** 海岸有料駐車場の収益は1,226万2千円で、魅力ある海岸づくり基金に積み立てている。



決算審査特別委員会 現場踏査「一宮海岸トイレ」

**問** 中学校施設改修事業では、GSSセンターのプールを修繕したが、今後の計画は。

**答** プールの老朽化も激しいため、今後の利用は、外部プールを含めて協議、検討している。

**問** 企業版ふるさと納税の実績は。

**答** 2件で150万円である。

**問** マイナンバーカードの交付率は。

**答** 9月末時点で76・5%である。

## 委員会からの要望事項

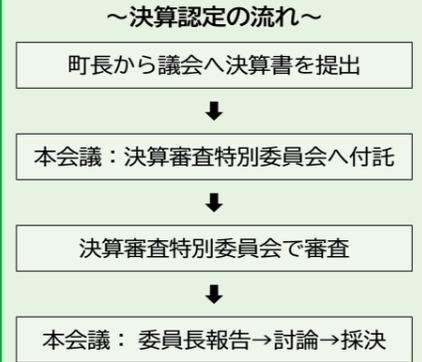
1. 一層の財源確保のため、企業版ふるさと納税の増額を目指し、更なる研究・努力をすること。
2. 子育て支援の充実のため、学童保育の受入れ時間延長等の対策を検討すること。
3. 学校の給食室は、近年は暑い日が続き、職員は厳しい状況である。暑い時期の環境改善に努めること。

## 前年度の要望に対する回答

学童保育は定員に達しており、職員数の確保も難しいことからこれ以上の受入れはできない。改善に向けて検討・努力されることを要望する。

令和6年度から学童保育の運営を人材確保に実績がある業者に委託した。これにより、利用者が多い夏休み期間も待機児童の解消につながった。民間事業者の専門的な知識・経験等により、児童の安心、安全な放課後の居場所としての学童保育を図っている。

**決算認定とは…**  
町の予算は使って終わりではありません。町は、予算がどのように使われたかを決算としてまとめ、議会はその内容をチェックします。予算の使い方が適正かつ効果的であったかを審査し、改善点の指摘や要望をします。決算審査の結果を今後の予算編成に反映させるといった役割があります。



# 決算認定 議員による討論

**【一般会計】**  
**反対** 町民の暮らしを応援する施策を

物価高騰等、経済が相対的に疲弊していた状況であり、町民の暮らしを救済・応援する対策が求められていた。

国保税引き下げ、物価高騰対策の上乗せ助成、学校給食無償化の完全実施など、少しでも前へ進める改善が求められていた。不十分さを残した決算であり、反対する。

**賛成** 今後の公共施設改修等を見越した決算

一般会計の翌年度への実質収支額は、約1億4,770万円となった。

今後、公共施設に関する経費が増加することから、経費削減を図り、歳入と歳出のバランスに努力した結果の決算と考え、賛成する。

**【国民健康保険事業特別会計】**  
**反対** 改善の余地がある

本制度は、住民負担が多く構造的な問題を抱えている。根本解決は、国庫負担金を増額することであるが、地方消費税交付金を財源とした税の引き下げや18歳以下の均等割りをなくす問題など、更なる改善余地がある決算であり、反対する。

**賛成** 適正かつ健全に運営

健全な運営確保のため、個別相談等により収納率向上を図っている。また、生活習慣病の予防と早期発見を目的とした健診の受診率向上に取り組み、医療費の削減に努めている。厳しい財政状況の中、適正かつ健全に運営されており、賛成する。

**【介護保険特別会計】**  
**反対** 社会全体で支える介護制度を

社会の抱える介護問題を個人から社会全体で支えるはずの本制度は、度重なる制度改正により、現在は機能していない。

多くの問題を抱える中で、待機者がいるにも関わらず、介護保険計画には施設増設の計画がない。国に制度改善の声を上げ、努力することを求めて、反対する。

**賛成** 町独自の介護予防事業を評価

要介護認定率は「第8期介護保険事業計画」の推計値より、低く抑えられている。けんこう運動教室等、町が長年精力的に実施している各種介護予防事業の効果によるものと考えられる。介護認定者や保険給付費の抑制に努める姿勢は大変評価でき、賛成する。

**【後期高齢者医療特別会計】**  
**反対** 制度改善を求める

本制度は、国民を年齢で区別しており、負担増と差別医療を押し付けている。保険料が高いとの声もある中、窓口負担も一部を除いて1割から2割に変更された。国庫負担を抜本的に増やす等、改善を強く求め、反対する。

**賛成** 安定的かつ健全な運営

運営は、県内全市町村で構成する広域連合が主体であり、町は保険料の徴収や各種申請・届出等の窓口業務を行い、被保険者の利便性を確保している。地域で安心して医療を受けられる体制と広域連合との連携による安定的な運営がされており、賛成する。

## 討論とは・・・

議会の会議において、議題に対して賛成か反対か、自らの意見を表明し、その理由等を述べること。

討論が終結すると、議案等の賛否を決定する採決となるため、討論は意見の違う議員を自らの意見に同調させるための最終的な機会となります。







篠瀬 寛樹 議員

# ペット同行・同伴避難の体制強化を 施設管理者等に 協力を仰ぎ検討していく



**問** 町ホームページには、ペット同行避難の避難場所や必要事項等があるが、見た事がある方は少ないと思う。また、ハザードマップにはその記載がない。チラシ等を作成し、飼い主へ周知していただきたい。  
また、同行避難可能な14箇所ある指定避難所は、屋外にケージを置いた場合に雨風も防げない場所もたくさんある。指定避難所の一宮商業高校グラウンドでは、駐輪場や渡り廊下等にブルーシートを下げたり、GSSセンターでは、プールの更衣室を提供する事で、ペットの置き場を確保することが可能になると考える。避難所は、せめて雨風を防ぐ対策がとれるようマニュアルを作り、受入れ体制を強化し、飼い主に周知するべきと考えるが、見解を伺う。



**総務課長** ハザードマップは、今年印刷を行ったため、次の更新時での掲載や広報等での周知を検討する。  
GSSセンターのプールの更衣室や学校等教育施設については、施設管理者等に協力を仰ぎ、対応を検討していく。

また、11月15日には、公益社団法人千葉獣医師会長生支部と「災害時における動物救護活動についての協定」を締結し、負傷した動物に対する応急処置等の協力をいただけることになった。これにより、今後のペット避難の環境改善を期待している。

# ここが聞きたい 町の考えを問う 8人の議員が一般質問

一般質問は、町政全般に関する疑問や町の考えを問うものです。  
※ここでは、質問と答弁を要約した内容で掲載しております。  
詳細は、町のホームページから議会会議録（3月掲載予定）または録画中継でご覧いただけます。

### 篠瀬寛樹 議員 P9

- ①災害時のペット同行・同伴避難について
- ②道の駅事業について

### 川城茂樹 議員 P10

- ①農業用水路の管理について

### 大橋照雄 議員 P11

- ①防災対策について
- ②簡易宿所で生ずる迷惑行為と地域住民の住環境について
- ③観光を謳う一宮町の市街環境、特にJR東口の放置自転車について

### 宇佐美信幸 議員 P12

- ①学校給食室へのエアコン設置について
- ②福祉タクシー運賃助成の妊産婦適用拡大について
- ③DX化の取り組みについて

### 畑場博敏 議員 P13

- ①町中央公民館建設問題について
- ②マイナ保険証問題について
- ③今年の米問題について

### 鶴沢清永 議員 P10

- ①海岸地域の排水問題について

### 袴田忍 議員 P14

- ①高齢者単身世帯の支援は
- ②町の交通対策はどのように

### 藤井幸恵 議員 P15

- ①子ども・子育てニーズ調査の結果について



議会の様子（録画）を公開しています  
各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の動画をご覧いただけます。

# 計画を見直し海岸広場へ道の駅を

## 答 釣ヶ崎海岸地先で継続協議中

**問** 長年進まない釣ヶ崎海岸地先での道の駅事業は、岸付近での道の駅事業は、町の財政状況と公共施設に関する多くの課題の中で、先延ばしにすればするほど実現不可能だと考える。

そこで、一宮海岸広場での道の駅建設を提案する。海岸広場は、近隣環境も含めて可能性が高い土地柄であり、トイレや駐車場等は整備済みである。今から目指せば、デジタル田園都市国家構想補助金を活用し、来年度の申請から最短で2026年度の事業着手が可能である。また、PFI等の手法を利用して、町は賃借料をいただくなどの方法もあるが、見解を伺う。

**企画広報課長** 道の駅事業は、釣ヶ崎海岸地先の県有保安林を候補地としている。これまで、保安林解除や土地の借用又は買収の可能性について、関係機関と協議を重ねてきた。現在までの流れをふさぎ止め、方向転換することは望ましくないと考える。

※「PFI」とは  
公共施設等の建設・維持管理・運営等を民間の資金や技術力を活用して行なう手法。



釣ヶ崎海岸地先

## 議長・議員が出席した主な行事(令和6年10月~12月)

10月	11月	12月
9日 第3回議会報編集委員会	2日 上総一宮児童作品展表彰式	2日 長生郡市負担金審議特別委員会
11日 生物文化多様性計画策定委員会	6日 公民館建設検討委員会	議会運営委員会
13日 第8回一宮町ボランティア福祉フェスティバル	7日 第1回臨時議会	5日 議会議員全体会議
15日 決算審査特別委員会 (10/15~10/16)	13日 第68回町村議会議長全国大会	第1回議会報編集委員会
19日 一宮小学校 秋季大運動会	17日 東金市市制施行70周年記念式典	10日 第4回定例議会
21日 例月出納検査	17日 議会報編集委員会視察研修	12日 第2回議会報編集委員会
公民館建設検討委員会	19日 第12回公立長生病院の経営に関する調査研究特別委員会	17日 一宮町健康づくり推進協議会
23日 千葉県後期高齢者医療広域連合議会運営委員会	20日 例月出納検査	18日 生物文化多様性計画策定委員会
千葉県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会	22日 千葉県町村議会議長会定例会	20日 例月出納検査
26日 東浪見小学校 秋季大運動会	千葉県町村議会議長会議長・副議長研修会	26日 まち・ひと・しごと創生有識者会議
27日 一宮町農林商工祭	長生郡市広域市町村圏組合議会全員協議会・議会運営委員会	
	長生郡市広域市町村圏組合議会第3回定例会	



大橋 照雄 議員

## 減災よりゼロ防災を

### 答 被害を最小化する減災が基本



**問** 令和6年11月10日の新聞に「国が防災避難所対策で、移動式トイレ等の補助を検討」とあった。トイレには「スファイア基準」という国際基準があるが、その基準に合わせ、トイレを整備する計画はあるか。

さらに、災害に対して「減災」を基本とするのではなく、被害ゼロを目指す「ゼロ防災」に考えを切り替えるべきだが見解を伺う。

**総務課長** 避難所のトイレは、自動ラップ式トイレの備蓄を進めている。しかし、まだ数が不十分のため、国の補助金の動向を注視し、避難所環境の向上に努めている。スファイア基準については、認識しているが、現在の町の計画は、国・県のガイドラインに基づいて作成されている。

「ゼロ防災」が理想であるが、災害を完全に防ぐことは現実的には困難であり、被害を最小化する「減災」の考えを基本としている。

## 海岸地域の排水問題への対策は

### 答 改善策を調査・検討していく



鵜沢 清永 議員



**問** 県道飯岡一宮線沿いの海岸地域、特に新浜地区はこの30年間に人口と世帯数が約4倍に増加した。急速な宅地化等により、雨水等が適切に排水されず、道路冠水や浸水被害が頻繁に起こる深刻な問題を抱えている。

今後、排水処理をどう進めていくのか。

**都市環境課長** 本地域の排水問題は、側溝内の堆積土砂による排水不良が主因であり、側溝清掃が有効と考える。そのため、町道側溝は、ごみゼロ運動等の機会に、地域住民による清掃をお願いしたいと考える。蓋が開かない等難しい場合は、町にご相談いただきたい。

また、県が管理する側溝と基幹水路は、定期的な清掃を改めて県に要望していく。

なお、本地域には側溝が設置されていない町道もあるため、側溝の新設が排水問題の改善策となり得るか調査検討も進めたいと考える。

## どうする今後の農業用水路管理

### 答 今後も地域の協働活動を支援する



川城 茂樹 議員



**問** 農業用水路は、元来地元農家組合や土地改良区で管理しており、今もその基本は変わっていない。

しかし、高齢化や後継者不足により、耕作放棄地も散見され、管理されていない水路も現れ始めている。このような水路周辺の草刈り等は、管理区分が曖昧になっており、農家が相談先に困るといった問題が生じている。

町の担当部署と土地改良区が連携していくことが重要であり、町主導の対策について、以下2点を伺う。

① 町水路管理担当部署と土地改良担当部署との連携構築の考えは。

② 今後の農業用水路管理の課題と対策は。

**産業観光課長**

① 近年、農業従事者の減少により、農業用水路に求める役割が変化している。今後、適切な維持管理方法等について、土地改良区を含めた関係各課と検討し、議論する。

## JR東口付近の放置自転車対策は

### 答 看板設置や駐輪場整備で対応



※自動ラップ式トイレ  
水を使わず、臭い漏れなく、排出物を密封するトイレ

※「スファイア基準」とは  
災害や紛争の影響を受けた人の人権、その人達を支援する活動の最低基準。

**問** JR東口付近の放置自転車が悪印象を与えており、危険な状況でもある。そこで、次の点を伺う。

① 町の対策は。

② 町の無料駐輪場を整備し、施設の改善としては。

③ 東口近くに駐輪できるとありがたいとの声もある。何か対策はないか。

## その後の簡易宿所問題は

### 答 騒音値測定の準備を進める

**問** 9月議会で、簡易宿所の宿泊客による迷惑行為について、困っている町民の声を届け、改善を求めた。町民を守るため、迷惑防止条例に基づき対処したと思うが、現状はどうか。

**都市環境課長** 夏場の観光シーズンを過ぎた事もあり、現在は小康状態である。また改善策として、事業者による防音対策工事が予定されている。引き続き状況を注視し、適切に対応していく。

なお、騒音問題への対応は、実際の騒音値による客観的な判断が重要と考え、準備作業を進めているところである。

**総務課長**

② 駐輪場にはソーラー式照明を設置した。来年度は、仕切り等の整備を検討している。



※こんな質問もありました

- ・馬淵町政の看板政策である子育て・教育について
- ・町からの情報の伝達体制について
- ・町長の政策実現への道のりについて



② 農村地域の過疎化や混住化等の進行により、集落機能が低下し、管理を継続していくのが難しい状況である。農地、農村が有する多面的機能の維持を図るため、交付金制度を活用し、地域の協働作業を支援している。

今後も地域活動を支援し、農村の有する多面的機能の維持・発展や農地集積といった構造改革の後押しなどを行っていく。



焔場 博敏 議員



## 優良事例に学び 文化拠点づくりを

### 答 新築の複合施設を目指す

**問** 中央公民館建設検討委員会の報告書がまとまった。私も群馬県邑楽町の先進事例を視察し、大変参考になった。以下の点を伺う。

- ① 町総合基本計画の中で公民館建設の位置づけや、建設基本計画は。
- ② 国補助金の活用により都市計画の見直しは必要ないか。
- ③ 今後のスケジュールは。
- ④ 町の文化拠点建設に向けた庁舎内の体制づくり、住民参画の委員会等が必要だと思いが見解を伺う。

**教育課長**

- ① 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で「社会教育施設の老朽化対策を行う」としている。建設基本計画は作成中である。
- ②③ 公民館機能を含めた新築の複合施設を3年から5年後を目標に補助金活用も含めて、整備していきたいと考えている。

**町長**

- ④ 今後は企画広報課が中心となり、新たな検討委員会を立ち上げる等、民意を反映できる体制で進めたい。

## 学校給食室へ エアコン設置を

### 答 代替案で当面は対応

**問** 町の小中学校3校の給食室にはエアコンが設置されておらず、非常に過酷かつ危険な環境である。この状態は職員の健康状態を害する危険性があり、また食中毒の発生の危険性も極めて高い。

そのため、早急にエアコンを設置するべきと考えるが見解を伺う。

**教育課長** 非常に厳しい労働環境であると承知しており、エアコン設置を含め改善策を検討してきた。

しかし、今後給食施設の整備が予定されている中で、現施設に多額の費用を投じることは現実的ではない。代替案として、スポットクーラーの設置、ファン付空調服の整備などを予算要望している。

食中毒発生の危険性には、栄養士、調理員が創意工夫して対応している。今後、設備面で改善できる場所があれば、早急に対応する。



宇佐美 信幸 議員

## 妊産婦にも福祉タクシーを

### 答 適用拡大を前向きに検討

**問** 福祉タクシーの運賃助成について、出産と育児を支援するために、妊産婦へ適用を拡大してはどうか。例えば、助成対象には妊娠中の医療機関への受診や出産に伴う移動、乳児の健康診断受診等を想定する。

**福祉健康課長** 妊産婦の移動手段の助成については、必要性を認識している。今後、妊産婦の方の意見や要望など情報収集に努める。

また、財政負担を抱える中での優先順位等を考慮した上で、全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子

育てができるよう、前向きに検討する。



## DXの取組の現状は

### 答 低コストなソフトウェアを導入し、業務効率化を図る

**問** 様々な分野で人材不足が深刻化する中、DX推進による業務の効率化は必須である。利便性向上や業務効率化、改善点の洗い出しをし、将来に向けてビジョンを決定する必要があると考える。そこで、町のDX化の取組みの現状を伺う。

**総務課長** WEB申請フォームが作成できるサービスや生成AIを活用できるも

## マイナ保険証 誤解・疑問を生まないPRを

### 答 今後も周知を図りたい

**問** 12月2日から紙の保険証は新規発行がされなくなりますが、誤解や疑問が多いのではないかと。そこで以下を伺う。

- ① マイナ保険証がなければ受診できないのか。
- ② 顔認証カードリーダーで確認できない場合は。
- ③ マイナ保険証に暗証番号は必ず必要か。
- ④ 紛失、悪用のリスクは。
- ⑤ 高齢者の施設入所等、マイナ保険証は預かれないと言われた場合の対応は。

窓口で被保険者資格申立書を記入すること等で受診できる。

- ③ 暗証番号の管理が不安な方は、暗証番号の設定を不要にした「顔認証マイナンバーカード」もある。
- ④ カードは特殊加工されており、安全である。
- ⑤ 入所時の契約や預かり証、または資格確認書で対応可能。

### 住民課長

- ① マイナ保険証を持っていないくても、有効期限まではこれまでの紙の保険証は使える。マイナ保険証がない方には、有効期限が切れるまでに資格確認書が交付され、これにより受診できる。
- ② 目視でも確認が可能。資格確認ができない場合は、



## 米不足どうとらえ 対策は

### 答 安定供給の支援必要

**問** 今年の異常な米不足はなぜ起きたのか。政府の主食に対する失政であるとの声もある。安定供給に責任を持つ取組みを求めるが、原因と対策について町の認識を伺う。

**産業観光課長** 米不足は、昨年度の猛暑での高温障害による収穫量減少やインバウンド増加による需要拡大に加え、自然災害への備え等が強まったためと考える。安定供給に向け、生産調整や備蓄米制度の見直し等が挙げられている。農家の生産量を増やす取組み、気候変動に耐える技術等、支援強化が必要と考える。





藤井 幸恵 議員



## 子育て世帯の真に望む支援を

### 答 大規模な事業ほど計画的に

**子育て支援課長** 子ども・子育て支援事業計画及びニーズ調査は小学生以下の児童がいる家庭に向けて5年ごとに実施し、今回第3期の計画を策定する。前回の調査では保育所整備が進んだため、満足度が高かったと考える。重要度の高い「小児医療体制の充実」「公園・児童館などの交友施設」等が整備されていないことが、悪くなった要因の一部と考える。このような大規模な事業ほど計画的に検討し、今後も更に子育て世代の方々が、子育てしやすい環境と感ぜられるまちづくりを進めていく。

**問** 子ども・子育てニーズ調査の結果は、「子育てしやすい」と感じる人が減り、「子育てしづらい」と感じる人が増えた。当事者の声が拾えていない、本当にしてほしい支援をしていないと感じる。

**答** 今回のニーズ調査の結果を受けて、5年間の子育て支援政策について町の考えを伺う。

## 議会報編集委員会視察研修報告

11月19日（火）、奈良県王寺町へ「議会広報の取組みについて」をテーマに、行政視察に伺いました。王寺町議会は、読んでもらえる議会広報を目指し、2023年8月に議会広報紙を大幅にリニューアルしました。「あなたと議会をつなぐガイドブック」をコンセプトにし、読み慣れない専門用語や堅くならない身近に感じるデザインに改善しています。この取組みの経緯や広報の編集方法について伺いました。

今回の研修で学んだ手法等を活かし、一宮町議会だよりも、手に取ってもらえる、読んでもらえる広報紙を目指していきます。その取組みの一部として、今回から文字のかたちが分かりやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています。



## 高齢者単身世帯の支援は

### 答 高齢者の声を聞き対応する

**福祉健康課長**

① 町の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、高齢者の安全安心な暮らしの実現に向けた取組みを行っている。

総合相談窓口の開設や認知症初期集中支援事業をはじめ、民生委員による高齢者宅訪問や配食サービスでの見守り・安否確認等を実施している。

また、福祉タクシー事業や移動販売を実施している事業者の紹介・生活に役立つお店などをまとめた情報誌の作成も行っており、今

**問** 「高齢者単身世帯は2050年に2割を超える」と新聞報道でも紹介されている。当然、町における高齢者の単身世帯数も多くなると考える。

そこで、町の支援サービスについて伺う。

① 医療や介護・移動の問題・食の問題の支援策は。

② 詐欺・室内侵入強盗事件と凶悪事件が続く昨今、防御する立場での町がとれる支援策は。



袴田 忍 議員



## 高齢者への交通対策は

### 答 夜間歩行時の事故を防ぐため 反射材着用を促す

**問** 町は「スローフォーキッズ」を子どもの交通対策として宣言した。

しかし、今後の交通対策は、子どもだけでなく、高齢者を含めた交通弱者の見守りも大切と考える。

町の対策として何に重点を置き推進していくのか、考えを伺う。

**都市環境課長** 県内の状況を見ると、交通死亡事故の半数は夜間に発生しており、特に高齢歩行者が被害に遭うケースが多い。

このため、千葉県警では、高齢者をはじめとした歩行者等に、反射材着用を促す取り組みを重点活動の一つとしている。町もこの取組みに重点を置き、改めて広報や啓発活動に努めていきたい。

また、交通量の多い国道では、横断歩道への照明灯設置を要望していく。



## あなたも議会を 傍聴しませんか！

次回の定例議会は3月4日(火) 午前9時からの予定です。

※インターネット中継でもご覧になれます。



録画中継

